

心療内科

河合伸念

◆ 診療体制と患者構成

診療科スタッフ

河合伸念：心療内科医師（非常勤）

指導医・専門医・認定医等

河合伸念：精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医

外来診療実績

心療内科外来は毎週金曜午前中に開設している。

外来診療は原則完全予約制とし、受診者数は1日あたり20～25名程である。

心療内科への新規外来患者の受付は原則一日に一件としている。

当院他科に通院中、または入院中で、他科主治医から当科に相談や診療依頼（コンサルテーション）があった場合には、随時対応している。

入院診療実績

当院には心療内科の入院病床はなく、入院治療は行っていない。

種々の身体疾患で各診療科に入院中の患者が精神科的症状を来した場合は、元々精神科疾患を有する患者が身体的な問題で当院に入院する場合には、各診療科からの相談に応じ治療に協力している。

高齢者などが入院中に「せん妄」と呼ばれる意識障害を起こしたり、入院生活の様々なストレスから不安やうつ症状を生じたりすることがある。こうした場合に、診療方針の相談や病棟スタッフの対応についてのアドバイスなど、当科的アプローチによって入院治療の質を高められるように協力している。

◆ 診療科紹介（概要）

現代社会は様々なストレスに溢れている。大きなストレスのために体調不良や精神的不調に陥ることは少なくない。心療内科はこのように心理的なストレスや精神疾患などが原因で心身の不調をきたしている場合に、薬物治療や心理的アプローチによって健康を取り戻すことを目的とした診療科である。

動悸、めまい、呼吸困難、不眠、食欲低下、体重減少等、様々な身体症状、自律神経症状、あるいは抑うつ、不安、無気力等の精神症状に対して、その背景にある心理的要因や精神疾患を専門的なアプローチによって見出し、精神療法と薬物療法を組み合わせることで診療を進めて行くのが心療内科の手法である。

◆ 診療する主な疾患

心療内科では、主に不眠症、心身症、適応障害、パニック障害、強迫性障害、社交不安障害、全般性不安障害、うつ病等の診療を行っている。

◆ 医療の質の自己評価

十分に経験を積んだ医師が診療にあたっており、さらに日々研鑽を積んでその質の向上に努めている。

特に他の診療科を受診した患者に心療内科的な背景が疑われた場合には、当科的なアプローチによってスムーズに問題の解決が図れるよう協力を心がけている。

当科は週に一度、半日のみの開設であり、入院病床はなく、また他に専門スタッフはいない。したがって当科対象患者に対して常に迅速かつ十分な対応が可能とは言い難い面もある。再診の患者数が多いため待ち時間が長くなり、一人当たりの診療時間が十分に確保できないこともある。このため新規患者の外来受付は一日一件までと制限せざるを得ない状況にある。他の医療機関との連携を深める等して、さらに医療の質の向上と対応力の強化に努め、地域医療に貢献したい。

1
2
3
4
5
6
7
8
9